

2020年8月15日(土)

夏休み怪談朗読会

「朗読だからおもしろい！真夏の怪談話」

毎年人気の夏のイベント「真夏の怪談話」。

今回は新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数の制限や消毒・換気の徹底、参加者のみなさまへの受付時の検温を行うことで、無事に開催することが出来ました。

朗読いただいた「こうばこの会」(視覚に障がいのある方達を中心としたトークパフォーマンス集団)のみなさんは、マスクやフェイスシールドを着用されているにもかかわらず、とても大きな迫力のある声を出されて、その技量にただただ感服しました。



今回は話し手さんと参加者のみんなの間にビニールシートを設置したコツよ。よく見るといろいろなおばけや妖怪がいるコツよ〜。



僕に似てる〜！
仲間がいっぱい！



最初は明るいままで絵本をめくって見せながらの朗読です。

「ゆうれいとすいか」はこの季節にピッタリの怖くて楽しいお話です。笑い声もおきました。

絵本の朗読が終わると部屋の電気が落とされて、「かごめかごめ」の輪唱が…。

歌が静かに消えていくと、鐘がひとつ「チーン…」と鳴らされました。

さあ、こわ〜いお話のはじまりです。



どうどう？
雰囲気ててるかな？



ゾクゾクするね～！



「じゃあ かえす」というお話のラストはゾーツとしました。自分の身に起こる悪い事を、代わりに引き受けてくれていた身代わり人形。この人形を大事にしなかった男の子がどうなってしまったのか…。お話の最後の叫び声に、聞いていたみなさんの体が思わず「ビクッ」と…。

「スイカ割り」というお話では、「こうばこの会」のみなさん演じる亡者の声が部屋の横から後ろから聞こえてきて、臨場感抜群！迫力満点の演出に背筋が凍りつきました。



演者さんの息の合った掛け合いに
どんどんお話の世界に引き込まれて
いっちゃったよ！
ボクもゾクゾクしちゃった！

休憩時間は窓を開けて換気！
ビニールシートも消毒して感染対策
はバッチリよ。



「こうばこの会」のみなさん ありがとうございます！

アンケートでは、「迫力のある朗読でした。場面が目につかぶようで楽しめました。絵本もよかったです」「声が頭の中にひびき、とても怖く楽しかったです」「怖いお話だけでなく、泣けるお話もあってよかった」「視覚障がいの方の語りがこれほどまでに聴く者を引き付ける事に感動を覚えます」など、「こうばこの会」のみなさんへの賞賛の声と共に、「コロナ対策、大変だったと思います。ありがとうございます」というあたたかいお言葉もいただきました。ぜひ来年も開催したいと思います。



今回の
演目だよ。

『ゆうれいとすいか』
(くろだかおる/作 せなけいこ/絵)

「つぎはおまえだ」
(『怪談レストラン 5』より)

「子ども怪談 1月13日 11時10分」
(『笑い猫の5分間怪談 11』より)

「じゃあ かえす」
(『怪談収集家 山岸良介と人形村』より)

「トイレのはなこさん」
(『怪談収集家 山岸良介と人形村』より)

『いるの いないの』
(京極夏彦/作 町田尚子/絵)

「赤い女」
(『怪談収集家 山岸良介と人喰い遊園地』より)

「スイカ割り」
(『本の怪談シリーズ 5』より)

「さいごの見回り」
(『こわい！ 赤玉』より)

また来年会える
といいコツね～

府中市立図書館に
所蔵が無い本もあるよ。
ごめんね！

